

待ちに待った春到来である。

しかし世の中そうではないようである。毎日、上場企業や大手ゼネコン等の創造を絶する多額の負債による倒産のニュースばかりだ。

バブルのツケがここまで大きかった事を改めて認識させられる昨今である。この辺りの会社等でも賃金カットとか残業手当なしという情報がよく耳に入ってくる。こうして各社共、売り上げ不振による生き残りに躍起のようである。

全く5年前、いや3年前には考えられなかったような事態になってきたのである。先日東京へ行って来た。何処が不景気かと思うほどビルの建築ラッシュだった。この辺では考えられないような様相である。さすが大都会である。あの様な場所に居るとさすが小泉さんも本当の不況が感じ取れないのかもしれないと思った。構造改革も良いが、先ずは景気対策ありきと認識すべきである。我々のゴルフ同好会も会長、幹事を一新しました。いったい今年は好きなゴルフが何回やれることだろうか？

それにつけても、やっぱり今年も「春が来た」!!

Y. S

第9回理事会

- 開催日時 平成14年3月5日(火) 11:30~12:30
開催場所 三条ロイヤルホテル
出席者 木宮 長谷川(博) 梨木 山中 石川(勝) 山崎 落合 今井 山本 堀川 大野
小林(満) 五十嵐 出席者13/13(内委任状3)
- 協議事項
1. 社会奉仕事業の件 承認
『五十嵐川~歴史と自然の道』企画事業に参加協力6/16(日)頃予定
 2. 4月雑誌月間の件 承認
4/8(月)3RC合同講演会午後6時50分~
4/9(火)例会は8日に振り替え
 3. 人形寄贈協力詳細の件 承認
三条独自の人形が無いため取りやめ
 4. 周年行事出席者報告 承認
4/6五泉RC木宮・山上・中條
5/26村松RC山中・山上・中條
 5. インターネットコミュニケーション委員会設置の件 承認
木宮会長を選任
 6. 親睦旅行決算報告 承認
 7. 休会届けの件 承認
帰山会員5月頃まで
- 3月12日例会: 卓話 馬場直次郎会員・阿部勝子会員
3月19日例会: 会長エレクト研修報告会 梨木会長エレクト
3月26日例会: 夜例会 三条ロイヤルホテル 点鐘午後7時
卓話 齋藤興一会員
4月2日例会: 卓話
4月8日例会: (月)例会日変更 「ロータリー雑誌月間」3RC合同講演会
会場VIP 午後6時50分~



三条北ロータリークラブ週報

人類が 私たちの仕事

例会日
2002. 3. 5
累計 No 743
当年 No 34

国際ロータリー会長 リチャードD. キング 第2560地区ガバナー 野沢謹五
ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560nzwa>

会長/木宮 隆
幹事/山中 正
SAA/長谷川 恵慈

例会日/火曜日 12:30~13:30
例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局/三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行事: 卓話「歯周病とはどんな病気」新潟大学名誉教授 原 耕二様

出席: 本日の出席 58名中 40名

先々週の出席率 58名中 46名 79.31%(前年同期91.07%)

先週のメイクアップ: 2月27日 三条RCへ 外山晴一さん、山上茂夫さん

28日 加茂RCへ 梨本清一さん

28日 燕RCへ 小林繁男さん、青木省一さん、安田貞夫さん

佐藤弘志さん

3月4日 三条南RCへ 中條耕二さん

ゲスト: 新潟大学名誉教授 原 耕二様

ビジター: 巻RCより 杉山太三郎さん

三条南RCより 鈴木 武さん

オブザーバー: 青柳房枝さん、今井房子さん、山本みちこさん

会長挨拶: 木宮 隆



ある種の言動が社会通念として、慣例化する過程で、倫理、道德観念が失われていく状態のことを「モラルハザード」と言う。そして、この定義に当てはまるモラルハザードが最近、少なくとも三つ起きている。

その一つが先の冬季五輪での審判の判定をめぐる談合疑惑である。フィギア・ベアのジャッジに際し、ロシアがフランスの審判員に対し、圧力をかけたというもの。結果は両国の選手に金メダルが与えられたが、事件に関し、インタビューを受けた元メダリストの一人は「こんな事はオリンピックでは当たり前のこと」と言っている。

二つ目は雪印に端を発する食品業界のラベル張替え事件である。輸入牛肉を国産と偽ったり、黒豚を白豚と中味をすりかえたり、やりたい放題のご乱行にさえ、ある仲買人は「こんな事は業界では日常茶飯事」とうそぶくのである。

三つ目は国会議員と業界及び官僚の癒着が明るみに出た宗男ハウス事件。ある族議員は「地方の声を代弁するのも代議士の重要な職務、鈴木氏のような事は誰だってやっている」とのたまう始末である。

当たり前、常識、皆やっている・・・だから自分もやって当然という論理は正に、モラル・ハザードそのものと言っている。

この一連の事件を耳にした時、私の脳裏に去来した言葉は「ソフィスト」であった。このギリシャに民主政治が生まれる過程で出現した職業は当時、選挙で大衆を扇動し、丸め込む方便としてもてはやされたことから、詭弁家と言われる。その代表格が「人間は万物の尺度なり」で有名なプロタゴラスである。彼の説に拠れば、「宇宙に絶対的な真理等というものは存在せず、物事の価値は相対的に決まる」と言うもの。確かに普段は美しいはずの富士山でさえ、失恋の痛手の中で眺めれば、美しいとばかりは言えないのかもしれない。その意味で人間が全ての善・悪・美・醜を決める物差しと言えなくも無い。

しかし、これはあくまで詭弁であって、真理の追究からの逃げでしかない。モラル・ハザードを起こしている人達はこのソフィストの罠に落ち込んでいると言ってよいのではないか。

殺人を犯した犯人に対し、それだけ相手が憎ければしょうがないと言えるのだろうか。泥棒に対して生活が苦しかったのだからと罪を許す事が出来るのだろうか。不正を常識と言って憚らない論理のすり替えに騙されてはならない。

幹 事 報 告： 山中幹事

- ・佐野ガバナーエレクトより 月信インターネット化に伴う各クラブインターネットコミュニケーション委員設置のお願い
- ・米山記念奨学会より 功労者表彰品送付の件 高橋会員に米山功労者表彰品が届いております
- ・ガバナー月信9月号閲覧用を用意してあります。ご覧ください

ニコニコボックス：	5日現在累計	812,000円
-----------	--------	----------

- 杉山太三郎君（巻RC）始めて寄せて戴きました。今日は宜しく申し上げます。
- 鈴 木 武 君（三条南RC）何年ぶりの北クラブへのメーキャップです。
- 木 宮 隆 君 本日のお客様のご来場に感謝して。
- 山 中 正 君 本日のお客様のご来場に感謝して。
- 長谷川博一君 本日のお客様のご来場に感謝して。
- 今井克義君 原先生、卓話ありがとうございます。
- 梨木建夫君 ニューヨーク、ワシントンと米国の旅を無事終え、帰国いたしました。何故か家族はがっかりしているようです…？保険は多額に入らない方がのちのちギクシヤクしないようです!? スミマンが本日早退です。
- 阿 部 勝 子 君 陽ざしもやわらかくすっかり春めえてまいりました。ニコニコボックスに協力させて下さい。
- 笹原壮玄君 啓蟄で暖くなり虫も人も蠢^{うごめ}くかな、／
- 中條耕二君 巻R・Cご出身の杉山次年AGを迎えて。
- 丸 山 勝 君 八方尾根にスキーに行つて来ました。天候も良く楽しいスキーをしました。顔が少し黒くなりました。
- 久 保 博 君 BOX協力。
- 大橋政雄君 ボックスに協力。

さんに行っているか、あるいは、たまたま自分がブラッシングをきれいにやってきちんととやっていたか、あるいは遺伝的にですね、非常にラッキーな方であると思います。多くの人はまず治療を受けない、あるいはブランクコントロールをきちんとやらない限りには私は歯周病というのはどなたの口にもあるんだらうとというふうに感じております。

もう一つあります。これで最後ですけれども、これは9年経過した方です。私共はそれでも20年くらいの患者さんをもっておりますけれども、これは9年経過したものです。治療しまして、今言ったブラッシングをきちんとしたチェックとそれから自分の励行と、それからスケーリングとルートプレーニング、それから歯石の除去のきちんと終わった後の患者さん。これはだいたい歯肉炎ですとね中等度くらいの歯肉炎。それを終えまして、それから定期的にリコールというのですが、リコールをして半年に一度とか一年に一度くらい、この場合は3ヶ月に一度くらい来ていたと思うんですが、そういうふうに来てですね病気を早いうちに治してしまうという。あるいは歯石の除去早くしてしまう、その時期的にですね。それからブランクコントロールをチェックを受けるということをしてますと、これは9年間経っても健康が保てるということのこれは1人の患者さんで保ってますよというデーターです。これはこの時だいたいスイスの書物なんですけど、私共これが出た時にはですね、そろそろ私共の教室あるいは日本でも、10年から15年くらい健康に保てる症例をどんどん増やしてきた頃ですから、最初まだ歯周病が日本に入って私がまだ若い頃の時は必ず参考にするものでは10年、15年経って病気が進みませんよというのは、向こうの本を利用したものです。それは向こうの患者さんというのは非常に病気に対して認識が高いんですね、日本より歯周病に対して認識が高い。ですからDrに言われたこと、あるいはリコール制度をきちっと守りましてそして手紙のやりとりで来なさいと言われると必ず定期的に行つて治療を受けたおかげがやはり9年、10年、15年も自分が、自分の健康を保てるということの症例が外国では圧倒的に多かったものですから、学生さんに教えるとか、皆さんにお話する時にそういうものが参考になります。しかし今は違います。今、私共教室でかつてやりましたところですが、もう15年、20年、つまり10から15年くらい健康に保てない場合にはそれはその大学としては、恥ずべきものですよと言われるぐらいになりまして徹底してきました。同じに一般の地区、地域の先生方も歯周病の治療に非常に高いレベルとそれから知識とそれからそのものに対する行動に対して積極的にやっております。私はここで最後に申し上げたいのは是非に、皆さんが地域のリーダーの皆様ですから一度自分の口を歯医者さんに行つて診て頂いて、もし歯周病があると言われたらお忙しいでしょうけれども時間をかけて是非自分の口のためにためして頂く。そしてこいいぞということになりましたら、是非皆さん非常にいろんな方がお知り合いが多いでしょうから、御紹介頂いてやっぱり歯医者さんに行つて歯周病を治せよということをお勧め頂きたい。今日お招き頂いてこれがいちばん言いたかったことなんです。自分の口の定期の検査とか治療はとにかく皆さんにぜひ理解をさせて頂きたい。歯周病に対して認識して頂きたい。若い方々は今頃、歯周病に対して認識がありますけど、やはりお年をとってきますとですね、自分がそういうことまでに認識がないと同時にDr、我々の側もそういう教育を受けてませんでしたから、なかなか積極的に進められませんでした。たまたま私は専門でありましたし実績を持っておりますからこれは間違いのない事実でありますということで、是非そのことをお勧めしたいと思っております。非常にざっぱなお話になりましたけれども時間が来ましたので一応この辺で終わらせて頂きたいと思います。

ぜひ最後に申し上げたことをお願いするということでお話を終わらせて頂きます。

会 員 の 声：

「春が来た」天童よしみの歌の文句ではないが、今年も雪国特有の暗いイメージの冬が終わり、